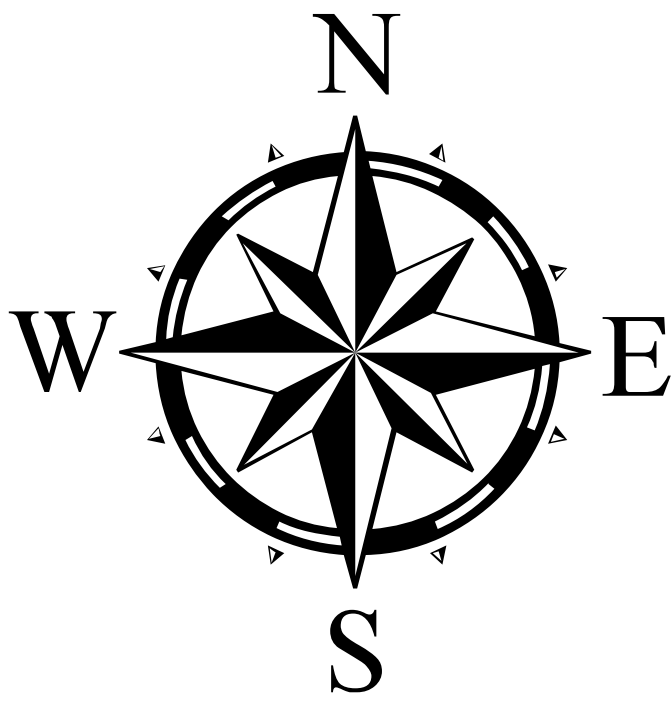
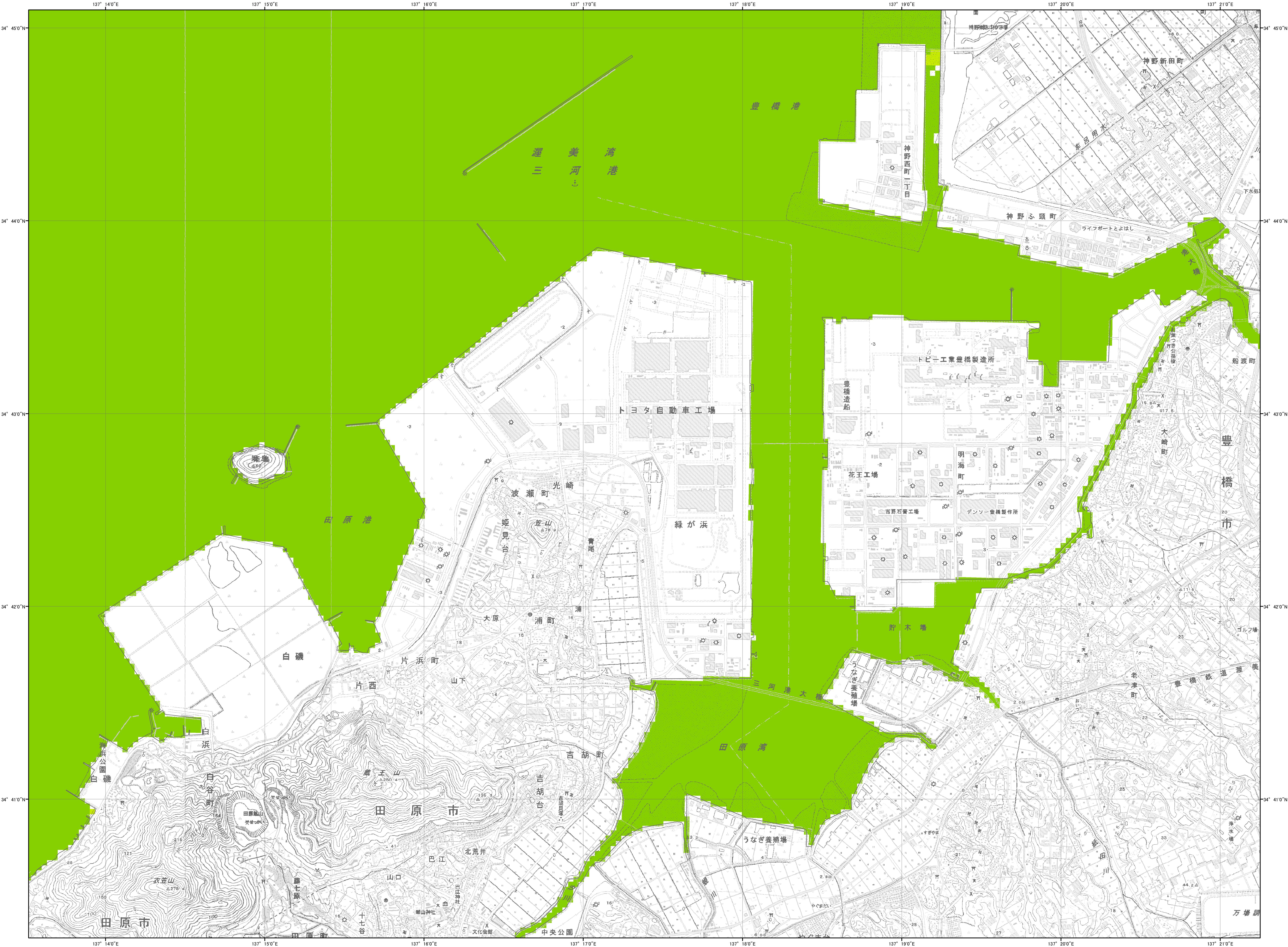


豊橋付近 最大水位上昇マップ

計算条件：最高水面（零位）
隆起量：平均 -61cm(-70cm ~ -38cm)
Zo：1.35m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

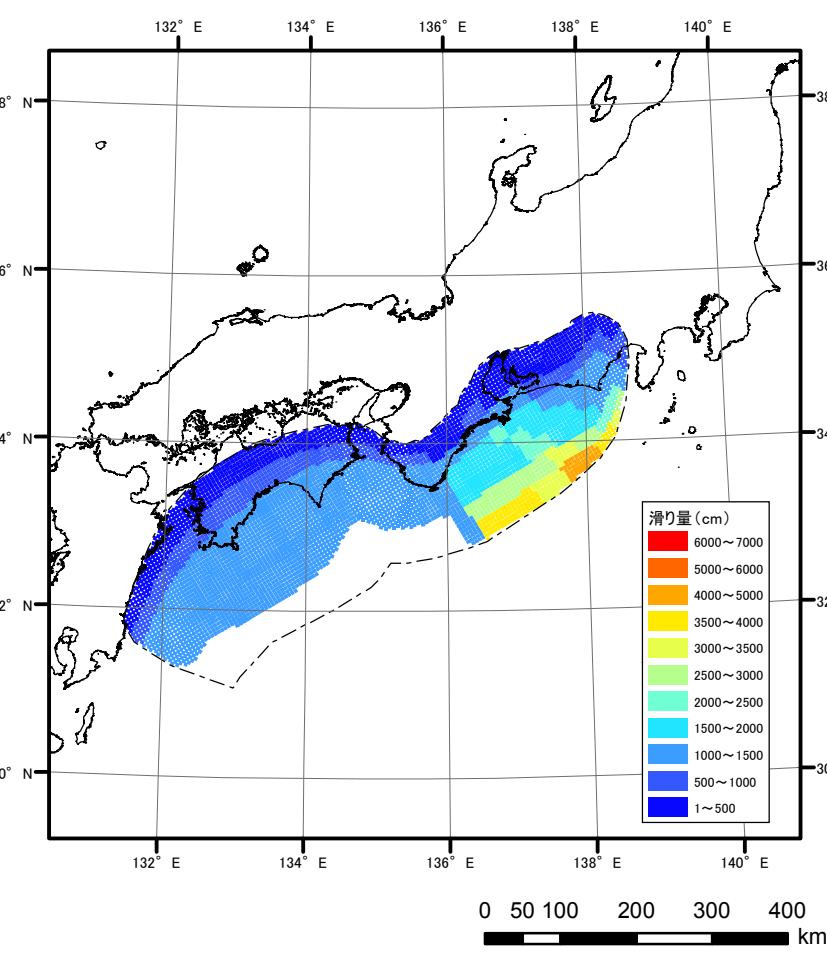


座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系（WGS84）

凡例

- 最大水位上昇
- 2～最大2.2m
 - 0.5～2m
 - 0.5未満

断層モデル



ケース①「駿河湾～紀伊半島沖に『大すべり域+超大すべり』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N-m)	6.1 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.3
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム（ArcGIS 10 対応）」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が作成する津波防災情報図に使用したデータ
・背景図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平28情保、第1474号）

